

## 毎日のドリル『はじめてのプログラミング』『プログラミング』(学研プラス) 石戸奈々子(CANVAS代表)監修 2月24日発売のお知らせ

株式会社学研プラスより石戸奈々子(CANVAS代表)が監修を務める小学生向け学習ドリル『毎日のドリル はじめてのプログラミング』、『毎日のドリル プログラミング』が2月24日に発売されます。本書は、スマートステップで構成され、1冊の中でも繰り返し練習していくので、確実に「基礎力」を身につけることができる学習ドリルです。ぜひ貴社媒体を通じて、本書を広くお知らせいただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

### 本書の紹介

＼やりきれるから自信がつく！／



毎日のドリル はじめてのプログラミング



毎日のドリル プログラミング

#### 【編集部コメント】

今、大注目のプログラミング教育。しかし、何をしたらいいのかわからない方も多いはずです。本書はそんなお悩みにお応えしたいという思いで実現しました。

プログラミングで注目されるプログラミング的思考は、パソコンを動かすための知識ではありません。プログラミング的思考は、私たちの日常を効率化したり、目の前の問題を解決したりする上でも役立つものなのです。本書は、なるべく日常シーンを描いた問題を収録することで、プログラミング的思考を働かせながら、論理的・創造的に問題に取り組んでもらえるように工夫がほどこされています。この一冊を終えたとき、これまでになかった新しい力が身につくことを祈っています。

# 本書の特徴

## 【日常生活に生きる「プログラミング的思考」が伸びる！】

プログラミング的思考を「分解」「整理」「条件」「順序」「繰り返し」「場合分け」

「関数」「アルゴリズム」に分類しました。日常を描く問題を解くことで、

生きたプログラミング的思考を身につけられます。

## 【オンライン教材で、プログラミングができる】

ScratchJr(スクラッチジュニア)を使って、自分で3種類のゲームを作る

オンライン教材に取り組むページがついています。ドリルを解くだけでなく、

実際にプログラミング体験ができます。

## 【1日1枚の勉強で、学習習慣が定着！】

目標時間にあわせ、無理のない量の問題数で構成されているので、「1日1枚」

やりきることができます。

## 【すべての学習の土台となる「基礎力」が身につく！】

スマールステップで構成され、1冊の中でも繰り返し練習していくので、

確実に「基礎力」を身につけることができます。

## 【できたよシールで、やる気アップ！】

ドリルが1回終わるごとに、「できたよシール」を「できたよシート」に貼っていきます。

毎日のがんばりが見える化されるので、やる気が高まります。

## 【勉強管理アプリの活用で、楽しく勉強できる！】

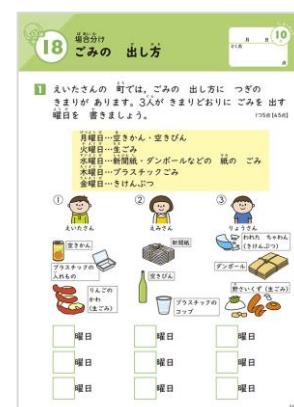
設定した勉強時間にアラームがなるので、学習習慣がしっかりと身につきます。

時間、点数を記録していくと、成績がグラフ化されたり、賞状をもらえたり、

キャラクターとコミュニケーションを取れたりするので、達成感が得られます。



『はじめてのプログラミング』より



『プログラミング』より

## 【書籍情報】

『毎日のドリル はじめてのプログラミング』

『毎日のドリル プログラミング』

監修:石戸奈々子(CANVAS代表/慶應義塾大学教授)

編集・発行:株式会社学研プラス

発売日:2022年2月24日

定価:990円(税込)

Amazon ①毎日のドリル はじめてのプログラミング

<https://www.amazon.co.jp/dp/4053054222>

②毎日のドリル プログラミング

<https://www.amazon.co.jp/dp/4053054990>

## 【監修者プロフィール】

石戸奈々子 (CANVAS代表、慶應義塾大学教授)

東京大学工学部卒業後、東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学  
メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、  
一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。  
総務省情報通信審議会委員など省庁の委員を多数歴任。

NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。  
政策・メディア博士。

著書には「子どもの創造力スイッチ！」、「賢い子はスマホで何をしているのか」  
をはじめ、監修としても「プログラミングれんしゅうちょう」など多数。

<http://creativekids.jp/>

## 本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先



遊びと学びのヒミツ基地

CANVASは子どものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壤を  
育てるすることを目標としています。これまでに開催したワークショップは3000回、  
約50万人の子どもたちが参加しています。産官学さまざまなプレイヤーのみな  
さまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス [information@canvas.ws](mailto:information@canvas.ws)